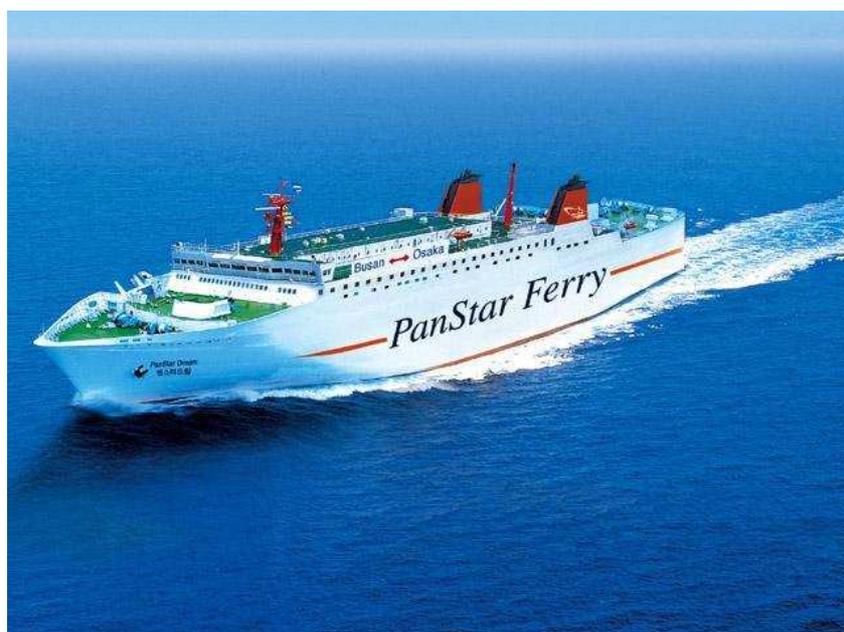


2019年度大阪大学国際公共政策研究科赤井研究室研修企画

## パンスターで行く瀬戸内海クルーズ



### 船内企画

#### パネル討論

瀬戸内海の魅力を活かしたクルーズ振興のあり方について

日時：8月29日 16:00～17:00

司会：赤井(大阪大)

登壇者：加藤（パンスター）、倉本(甲南大)、  
齊藤（中京大）、佐藤（福知山公立大）



## スケジュール

<1日目>	2019年8月28日
13:30 までに	大阪南港(大阪国際フェリーターミナル)集合
13:00~14:10	乗船手続き
14:10	出国手続き
15:30	大阪南港発 船内自由時間
16:00~18:00	ゼミ発表
18:00	夕食 船内自由時間
<2日目>	2019年8月29日
	朝食
10:00	釜山到着 入国審査等
11:00	釜山視察
12:30	昼食
13:15	タクシーにて港へ戻る
~14:00	乗船手続き
15:00	釜山港発 船内自由時間
16:00~17:30	船内企画(パネル討論)
18:00	夕食 船内自由時間
<3日目>	2019年8月30日
	朝食
10:00	大阪南港到着 解散



## 参加者一覧

(敬称略/教員学生別)

氏名	所属
赤井 伸郎	大阪大学
倉本 宜史	甲南大学
金坂 成通	大阪商業大学
足立 泰美	甲南大学
齊藤 由里恵	中京大学
矢部 拓也	徳島大学
佐藤 充	福知山公立大学
小川 顕正	京都先端科学大学
後藤 剛志	大阪大学(大学院)
渡邊 高広	大阪大学(大学院)
Tengku Munawar Chalil	大阪大学(大学院)
Ahmad Zaky Zamani	大阪大学(大学院)
花光 祥子	大阪大学(大学院)
板垣 桃	大阪大学(大学院)



## 部屋割り

部屋番号	同室者	
1	赤井 伸郎	矢部 拓也
2	金坂 成通	倉本 宜史
3	足立 泰美	齊藤 由里恵
4	小川 顕正	佐藤 充
5	後藤 剛志	渡邊 高広
6	Tengku Munawar Chalil	Ahmad Zaky Zamani
7	板垣 桃	花光 祥子

## 1:特に満足したポイントを3つ

1. 1.非日常感 2.ラウンジの雰囲気 3.食事
2. 瀬戸内海クルーズ、3つの橋をくぐるダイナミックなクルーズ経験。船内の食事がおいしい。船内で充実した時間(研究会、談話等)が過ごせたこと。お風呂がいい。(4つになってしまいました。)
3. "1. The cruise/ship facilities 2. The overall cost 3. The exciting new experience"
4. 朝から広いお風呂に海を見ながらつかれることは快適、生演奏のバイオリンは高級感があってよかった、ラウンジのマッサージは快適。
5. 特に満足したポイントは、①瀬戸内海の景色、②船内の設備、③食事の内容であった。まず、瀬戸内海の景色は多島海が生み出すユニークなものであり、見ていて飽きることがなかった。また、関門海峡の通過は迫力があり、船旅の醍醐味を大いに感じた。次に、船内の設備については、テラックススイートの客室では快適に過ごすことができ、クルーズラウンジは上質な空間となっていた。第三に、食事に関しては、味は美味しく、韓国料理をベースとしながらも、日本人旅行者にも配慮がなされていた点に好感を持つ



た。

6. 瀬戸内海の風景、大橋通過の醍醐味、クルーズ気分を手ごろに味わえる点
7. 1) 船内の設備が古臭いことは否めないのですが、水周りも含めて清掃が行き届いており清潔感がありました。2) 会議室もあり、船内で過ごす上で特に不便だと思えることはありませんでした。3) 瀬戸内海で育ちましたが、瀬戸内海を船でゆっくりと眺めることはあまりなかったので、いい経験になりました。
8. \*船内がきれい \*ご飯がおいしい \*思いのほか揺れが少なかった。
9. クルーズフェリーの部屋とラウンジが豪華で綺麗。航路が瀬戸内海かつ普段みることができない瀬戸内海の橋を一気にみて楽しめた。美しい釜山港をじっくり眺めることができ良かった。
10. ①部屋・大浴場などの設備が綺麗だったこと。②ラウンジを利用でき、宴会場所が確保できたこと。③瀬戸内海の景色が綺麗だったこと。



11. 私は他の大学から先生や研究員が多くの繋がりを持つことができ、ゼミの友達や先生と仲良くなれます。受け取った観光サービスや経験で支払った価格は本当に価値があります。

12. 料理やラウンジ、客室の雰囲気から、思っていたよりもクルーズらしく楽しめた。また、瀬戸内海を航行するという珍しい外航客船に乗ることができたことも良かった。大浴

場があったのも嬉しかった。

13. 初めてのクルージングであり、クルージングの初歩が身につく、次のクルージングへの期待が高まった。客室がゆったりしていた。院生報告・パネルディスカッションがよく、院生、他大学の教員との交流ができた。クルージング前の日程が、忙しかったので、よい休養になった。

14. 1つに大浴場がありお時間も夜は遅くまで朝も早朝から入浴できる点、2つめにVIPルームがあり終日使用可能でかつコーヒーやお菓子が用意されている点、3つ目にバイキング形式で食事ができる点です。

15. 風光明媚な瀬戸内海を航行できる点。食事が美味しかった点。ラウンジの使える部屋では、飲み物やお菓子が美味しく、Wi-fiも無料で使えたため、優雅な時間を過ごせた。



## 2: 今回のパンスタークルーズフェリーに乗船する前のパンスターへのイメージ

1. パンスターについては何も調べずに何も知らずに行ったので、正直、瀬戸内海を通るかなぐらいのイメージしかなかった。
2. フェリーということで、とても揺れそう。また、フェリーというと、雑魚寝のイメージが大きかったため、用意していただいた部屋はよくても、他の船内の施設にはあまり期待していなかった。しかし、瀬戸内海航路なのがとても楽しみ。
3. I thought it was much smaller ship and much more crowded
4. 特段認知はなかったのですが、船の移動という睡眠がとりづらいというイメージがあった。
5. 以前に、大阪と釜山を往復するフェリーがあるとのことはお話を聞いていた。しかしながら、それ以上の情報は持っておらず、乗船前のイメージは「大阪から韓国に行けるフェリー」というイメージというのが率直なところであった。

6. パンフレットでは情報を得ていたが、船内施設をどのように利用でき、楽しめるのかはわからず、半分不安、半分たのしみだった。航路は瀬戸内海であり、島々は魅力的と感じていた。



7. ほとんど事前知識がありませんでした。船の大きさも、見て初めて「けっこう大きいな」と思いました。「クルーズ」という言葉につられて、ホテルで言えば全日空ホテル、日航ホテルくらいのレベルをイメージしていたのですが、実際には東横インくらいのレベルでした(良くも悪くも)。

8. \*大阪と釜山を結ぶ \*パンスターの船が、さんふらわあの船を購入したものである

9. ほぼ事前知識なしで乗船なので、イメージなし。広告なども目に入ることがなかった。
10. パンスター社のことは知らなかった。HP を見て、韓国との往復フェリーを運航していることを知り、片道 19 時間という時間がかかることに驚いた。
11. パンスターはタイタニック船のような本当に豪華なクルーズになると思いました。映画館、音楽スタジオ、ゲームセンター、および多くのパフォーマンスがあります。しかし、私がそこに到着したとき、それは映画館がそこにあることを除いて、私が想像したのとはほぼ同じでした。
12. あまり正直イメージがつかなかった。乗船前に韓国の食材が運び込まれているのを見て、かなり韓国の雰囲気のある船なのかなと思った(実際はそうでもなかった)。航路は瀬戸内海がメインだったので、楽しみにしていたし、実際に良かった。
13. クルージング初心者だったので、特にイメージは無かったです。韓国資本ということすら知らなかったです。クルージングなのでプールがあると思って、水着を持って行きましたが、無くて残念。
14. パンスタークルーズフェリーのイメージですが、瀬戸内海をお手頃価格でクルーズ内で宿泊し、気軽に釜山への観光を実現できることです。
15. 瀬戸内海を航行する長距離フェリーの豪華版というイメージであった。貨客船としての機能を持つ船舶ということは知っていた。

### **3: 乗船前の野瀬社長との意見交換および大阪国際フェリーターミナルについての感想(立地、設備、乗船手続きなど)**

1. 立地としては、行きやすく無料シャトルバスも出ているのでいいと思う。また乗船手続きもスムーズで良かったが、帰りの入国審査が荷物をすべて開けて検査する方法はどうかと思う。
2. 社長の「船旅のエントリーとして活用して欲しい」との言葉が印象的であった。ターミナルは、とても華やかなデザインであるが、それ故、船をみるには邪魔になるものがあり少し残念。お手洗いの匂い、清潔さなど改善されたい。

3. The terminal is not great in term of size, but it is tidy, comfortable and efficiently managed.

4. 乗船手続きは想定していたよりも快適だった。万博や IR 誘致が実現すると日本人の観光客も増えるんじゃないかと思った"

5. 野瀬社長については、そのキャリアから、港湾整備と船社の両側面から大阪港の現状と課題を伺うことができ、非常に有益であった。また、ターミナルに関しては、1階と3階のギャップに若干驚いた。1階は貨物の運搬



があり、落ち着いた感じではなかった。客船利用者と貨物の動線を分けられると良いのではと思った。ターミナルまでのアクセスは地下鉄駅からシャトルバスが運行されており、特に不便なことはなかった。

6. 乗船前には、社長にもお越し頂き、概要説明をしていただいた。驚いたのは、豪華なターミナルである。これまで利用したことが無かったが、入出国の設備はもちろん、3階には、眺めの良いラウンジも整えられており、立派だった。利用者以外にも活用して欲しいが、駅直結ではなく、難しいか。

7. 横浜に住んでいたのも、大阪国際フェリーターミナルについては横浜の大棧橋との比較になってしまいますが、次の通りです。立地については、同じくらいだと思います。横浜も駅からはそれなりに歩きます。ただし、歩く道すがら飲食店がちらほらあったりと、歩く辛さをあまり感じないのですが、大阪国際フェリーターミナルの場合、まさに荷物の中を歩いている感じでちょっと寂しいです。そもそも、大棧橋の場合、横浜では有名なテートコースです。設備についても何もなさすぎて評価がしづらいですね。乗船前に早くきて何か食べようかと思いましたが周辺も含めて何もなく、完全に失敗してしまいました。なお、野瀬社長の説明はとても分かりやすかったです。「これはいわゆるクルーズのエントリーホテル」との言葉が印象的でした。

8. 駅からシャトルバスも出ていて、交通の不便さは感じなかった。ただ、ターミナル自体は売店などもなく、3階のラウンジでは柱が多くて外が見辛いなど、少し残念だということもあった。柱の問題は改善するのは難しいと思うが、ターミナル内に、小さくてもよいので、売店があると便利だと思う。

9. 駅から無料シャトルバスが出ているのは良い。ただし天気が良ければ歩いてみたかった。

10. 野瀬社長がおっしゃっていた“クルーズ旅行のエントリーホテル”というのは非常に納得できた。1日に出る船の数が少ないためか、飛行機での旅行よりも、出国・乗船手続きがスムーズだった。1日の本数、乗船人数が多いと、ターミナルの広さでは人が溢れてしまう気がした。

11. フェリーターミナルに、観光客用と貨物用の別の出入口があることを願っています。私の経験が、そこに着いたとき、貨物出入口と観光客の出入口と混同されていたから



です。英語で書かれた明確な標識を備えた、より国際的な対応(例:バス停、時刻表、入国管理)。また、イスラム教徒の旅行者のための礼拝室の設置が必要です。

12. 野瀬社長のおっしゃっていたように、あまり使い勝手の良さそうなターミナルではないと思った。特に荷物を多く抱えた客の大量の荷物をさばく場所がないのは不便そうに思えた。立地も駅から微妙に離れていて、

そこまで良くないと感じた。

13. フェリーターミナルまでの行き方は分かりにくく、釜山に比べるとお土産屋さんなどもなく若干寂しい感じでした。グループ旅行であったので、退屈しませんでした。個人旅行であったら時間を潰すのが大変そうだと思います。交流会は有意義でした。便数が少ないのであれば、一般乗船客にも、大学生向けの社長自らの簡単セミナーとかあっても面白いかなと思いました。
14. 大阪国際フェリーターミナルですが、最寄り駅よりバスが定期的に出ていることから一定利便性が確保されており、建物につきましては、大規模でかつ外観が贅沢なつくりの印象を持っております。
15. コスモスクエア駅からの無料のシャトルバスはありがたかった。しかし、どこにバスの乗り場があるのかが、分かりにくかった。フェリーターミナル内では、お土産販売や喫茶店が無く、自動販売機だけであったことが、良くも悪くも印象に残った。せっかくモダンな外観のターミナルなのに、中が殺風景であった。安藤建築の特徴なのかもしれないが、せめて思わず写真に撮りたくなるターミナル内の場所の紹介や、釜山の情報を検索できるデジタル看板などを置いてほしい。

#### **4: バンスタードリームの船内での気づいた点(良かった点、改善すると良いと思う点)**

1. 良かった点は、荷物をそのまま預けて外に出れたこと、部屋が普通のホテルみたいで綺麗だったこと、レストランがバイキング形式だったこと。改善するといいなと思った点はお風呂や夢カフェを24時間(もしくは6時~25時くらいまで)使えたほうが良いなと思った。
2. 食事(特に夕食)がおいしかったので、そのことをPRすべき。特に、日本人からはサンチュにまいてお肉を食べるなど、韓国らしい食事なので、そこを強調されたいと思う。船内の表記への多言語対応(日本語・英語の追加)

3. Panstar crews are friendly and professional, satisfying dining experience, and comfortable lounge. Room facilities can be improved, for example, more selection of TV channels (including English language), internet access, etc
4. お酒等の物販価格が市場価格程度に抑えられていて余計な費用が不要なのは良い(食事代を含む)。お風呂のシャワーが、場所によって出が異なる、お湯になりにくいのは可能であれば改善して欲しい。

5. 良かった点としては、船内及び船上からの景色。ビューポイントに近づくと、アナウンスがあったのは有難かった。これに、テレビなどを通じて、フェリーのおおよそ位置がリアルタイムに分かるとうれしい。また、コンビニや自販機は良心的な価格で提供されており、使い勝手良かった。他方で、部屋の空調温度は各部屋で調整できるとよかった。今回の船内温度は冷え性の方には厳しい温度だったように思った。まず、乗船口からメインフローまでは、エスカレーターがあり、便利。メインロビーは、狭いものの、写真を楽しみ、売店・免税店・お風呂など、コンパクトにまとまっており、覚えやすく使いやすい。船内はあまり広くないもの、その分、動線は覚えやすい。CAFE は、ガラス張りで眺めがよく、瀬戸内海が良く見える。ただ、ビールをのむ場所になっており、おしゃれなコー



ヒーやケーキも楽しみ、アフタヌーンティーが出来れば、よりクルーズらしくなるのではと思った。スイートVIPラウンジには、コーヒーとマッサージチェアが供えられ、コンパクトながら高級感もあり快適。先頭なので、眺めも良い。コーヒーマシンのほうがより高級感あり。WIFI のパスワードが間違って印刷されていた。部屋は、スイートに滞在したこともあり、快適。冷房の調整は、天井にあるつまみを回せば出来るが、それを教えてくれる人はいなかった。クルーも知らなかったようだ。御風呂のシャワーは改善の余地あり。食事は、往路が韓国料理、復路が日本料理。豪華ではないが、種類も多く

おいしかった。値段を考えれば、十分良い。ショーは、マジックショーや、ダンス。いずれも、プロフェッショナルなものではないが、逆に手作り感もあり、身近に感じられて、アットホームな船のイメージ。

6. やはり船内設備の古臭さは否めませんが、清潔感は保たれていると思います。お風呂も汚くはありませんでした。あえていうなら、お風呂が循環式ではないためか、よく見ると髪の毛などが浮いていました。一方で、トイレは臭いもそれなりに感じましたし、もう少し綺麗な方がいいかなと思います。2階のトイレは使えなくなっていましたし。トイレやお風呂、お風呂に設置してあるドライヤーまで、韓国メーカーのものがほとんどでしたが、日本のメーカーのものの方が基本的な性能がいい気がします。これは、韓国の人から見てどうなのかわかりませんが。食事は、少しさみしいかもしれませんが必要最低限であの価格なら十分かと思います。その代わり、カフェでもう少し違うもの(ケーキやソー

セージ、サンドウィッチなどの軽食)を食べることができれば、メインの食事のさみしさを補えるかもしれません。

7. 個人的には、テッキからの景色が一番印象に残っている。明石海峡大橋の迫力や関門海峡大橋付近の夜景は、瀬戸内海をクルージングするパンスターの大きな魅力だと思う。
8. 船内の日本語表記に不自然な翻訳語が残っている(例えば、ロビーをロビと書いていたり)のが、味が有って良いと感じるのかどうか。全体として韓国に来た感を残すなら、不自然な日本語表記が残っていたほうが良いのだろうけども、クルーズの初歩感を出すなら、不自然な日本語表記はチープ感があるので早急に修正すべき。部屋のテレビリモコンの操作説明なども別機種の指示が残っていたり、不親切感がところどころにあった。乗船時のピアノ等生演奏は良いが、すぐ終わってしまって静かになるのはよくないので、ラジカセで良いので BGM がほしい。para ラウンジの wifi 説明間違い。売店がウオン表示のみ、大浴場のお湯が少ない、ヌルいのはだいぶマイナスイメージ。食事時に BGM が無いタイミングがあるのはよくないので、ラジカセで OK なので静かな BGM がほしい。船員の方の歌謡ショーは非常によかったので、手作りイベントでいいのかもしれない。
9. 2階のフェリーゾーンは比較的揺れも小さく、過ごしやすかった。大浴場に行く際に1階を通ったが、揺れは大きかったので、船酔いしやすい人には勧めにくい。また、1階には韓国人の乗船客も多く、ローカルな空気感があった。特に、通路の手すりにタオルを何枚も干してあったり、部屋のドアを開けたままだったり、ドアを開けたまま向かいの部屋の乗客と大声で話していたことには驚いた。食事について、往復で韓食・和食とメニューの変更があったのが良かった。韓食は辛いものが多かったので、船酔いしているときであれば、もう少しあっさりしたメニューが好まれると思った。部屋の空調について、温度設定を各自できると良いと思った。
10. "部屋はかなり大きくてきれいです。クルーズスタッフは親切でフレンドリーです。コンビで価格タグは韓国ウオンでのみばかり書かれています。価格タグは日本円と韓国ウオンの両方で書く必要があります。"
11. お風呂があったのがとてもよかった。なかなか普通のクルーズ船には風呂はないので、嬉しかった。ご飯はドレッシングが日本のものと違い、甘く口に合わなかった。説明書きがあればよかったと思う。船内設備は思った以上に整っていて快適に過ごせた。ゴミ箱(とくにペットボトル/缶)が少なかったのが不便だった。
12. 天候が荒れていたのが揺れるのかなと心配でしたが、ほとんど揺れなかったので驚きました。Wifi の回線速度が遅いので仕事をするには不便であった。回線速度がもっと速かったら、船内で仕事をする感じで利用できると嬉しい。クルーズビギナーとしては、



船内生活が体験できてよかった。他社にはなるが、ランクアップしたクルージング体験のパンフレットなどがあってもいいと思った(競合しない他社の広告を取る)。

13. 改善点としましては、バイキングのメニューに日本食と韓国食の特徴ある食事をもう少し入れても良いように思いました。またせっかく舞台がありますので、映画鑑賞などの使用もありかと思いました。



14. "乗船してすぐに内装や案内で韓国の雰囲気を感じ、韓国を好きな人には良い船だと思った。また、ロビーやカフェでバイオリンやピアノの演奏があったが、乗船してすぐに華やかな気持ちになれて良いと思った。船内の売店では、韓国のお菓子や飲み物、お土産を買えたため、大変便利であった。また日本円も使えるので、ありがたかった。お風呂を無料で利用できることもありがたかった。起

きている時間帯に、橋の下をくぐる前にアナウンスをしてくれたことも、ありがたかった。なお、夕方の食事の前の時間帯に、乗客が参加できるクイズ大会やワークショップがあればよいと思った。食堂が閉鎖されており、寂しい気持ちになった。また、夜のショーがあつという間に終わったという印象であった。カラオケは今の若者は身内の前では歌うが、他人の前では歌いたがらないため、参加者が少ないのだろうと思った。"

## **5: パンスタードリームを用いたクルーズ体験など、パンスタードリームの更なる活用に向けた提案**

1. 学生向けの安いプランを出していたが、学生はのんびりと船旅はしない。早く目的地について多く観光したいと思う。そのため、私は高齢者向けのプランを考えるべきだ。例えば、介護施設の全体の旅行など。食事はバイキングではなく別部屋でゆっくりと食べられるものやお風呂は温泉にするなど、ターゲットを高齢者にしたほうが利益を得られると思う。
2. 船内での自由時間がたくさんあるので、団体旅行にとっても向いていると思う。②個人客については、日本で、韓国アイドル、ファッション、メイクがトレンドなので、韓国好きで何度も韓国に旅行に行っているような方に、新たなメニューとして加えてもらうため、そのような方が情報収集するようなどころへの PR。③船内でイベント(婚活、ハロウィンナイト、パンスターのど自慢大会、瀬戸内海運航解説ツアー、持ち込み企画等…)を目的にした乗船。④メディアの力も大きいので、そこもうまく活用できる面白い、変わったイベントなどがあるといい。
3. Panstar may introduce loyalty program like membership and point system, for example, free 1x cruise after certain trips, free city tour, etc. Extending the pickup and drop places in Osaka and Busan (city area) is also good idea.

4. "・大学のインナーサークルに入り込みクラブ合宿を誘致すると良いと思います。船の中だと実演なども可能かと思います。"
5. パンスタードリームが大学生をはじめとした若い方々に対して船旅の良さを伝えるメディア（媒体）になると良いなと思った。現時点で、手軽に海外に行くことができる移動手段であるだけでなく、その移動自体が素敵な観光となり得るものである。それに加えて、船上での交流をキーにしたコンテンツを盛り込むことで旅行の価値は上がるのではないかと。例えば、合宿、音楽イベント、討論会、研修といった何らかのコミュニティに属する人々を繋げる機能を担うことができると面白いと感じた。
6. やはり、外観がフェリーなので、船内でのイベントなどを伝えることが大事。食事やショーなどを楽しめる点を、いかにつたえるか。寄港地は、釜山だけになってしまうので、瀬戸内海の魅力と、船内の魅力を伝えることが重要。船内のショーは一方向的に行うものばかりであったが、コスタのように、ダンスを一緒に踊るなど乗客とコラボする試みがあっても良いのでは。
7. 飛行機と違って荷物の制限が厳しくないのも、ゴルフツアーに良いのではないかと感じました。釜山のゴルフ場事情がわかりませんが、仮に日本よりも安いとするならば、高い高速代とガソリン代、さらに高いプレー料を払って日本でゴルフをするよりは、お酒も飲めるし安くつくかもしれません。韓国のゴルフ選手の中には日本の中年男性に人気な方もけっこういらっしゃいますので、良いかもしれません。
8. 飛行機や電車に比べて時間はかかるが、会話や食事を楽しみながら、のんびりと移動できることが、船の魅力だと思う。我々が乗っていた時も若い日本人の方を数組見かけたが、大学のゼミやサークル旅行での利用にはぴったりだと思うので、自分が教員になった後には、学生達に薦めてみたい。パンスターでは、学生割引も行っており、こうした取り組みが日本でのクルーズ文化拡大に繋がると思うので、ぜひ今後も続けてもらいたい。
9. 大学語学系の学部・観光学部・語学専門学校などとの連携（オフシーズンに学生はほぼ無料で往復体験で、300名程一気に体験させるテコ入れ）など。観光学部なども入学者全員いっしょに海外研修旅行に行くなどで宣伝メリットがあると思う。また、インターンの受け入れ（船員としてだけでなく、調理師やあらゆる職種での）で、関西の多くの学生に周知できそう。まずは関西の多くの人に知ってもらうこと、潜在的な顧客にリーチすることが大事かと。
10. 大人数での旅行では、航空券確保が難関なので、人数確定に時間がかかる合宿、職員旅行等では使い勝手がいいと思った。今回はVIPラウンジの使い勝手が非常に良かったが、大学生等のサークル合宿などでは、レストラン部分を一部開放するなど、宴会スペースの確保もセットにできれば良いと感じた。



11. 釜山でのいろいろな目的の旅に対して、いろいろなチケットが提案されると良いと思います。
12. LCC の存在を考慮すると、移動目的で価格で勝負するのは難しいと思えるので、研修やグループ旅行などに使うのが良いかと思われた。
13. 赤井ゼミでやったような、釜山旅行付ゼミ合宿プランは面白いと思った。行き帰りの船内時間でゼミをやって、釜山では遊ぶ。他にも、若干揺れるが、ステージでのダンスと



か音楽の発表会をとって、家族が乗船して子ども達の発表を観る、釜山旅行付お稽古発表ツアーとか。クルーズの時間を利用して、カスタマイズされた特別な経験を演出できる企画がよいと思う。会議室、個室、ステージ利用は地上でもできるが、海上で行う事で特別な経験になるし、行き先での観光体験も特別な時間の体験に寄与すると思う。

14. 舞台がありますので、ピアノやダンスなどの音楽関係の発表会を目的に宿泊を兼ねた会の開催などのご提案などもあっても良いかと思えます。また、部屋数が一定ありますので、ご家族も交えたサッカークラブや野

球クラブなどの合宿の利用などのご提案もありかと思えます。

15. 企業の新人研修などで利用されても良いと思う。研修室もあるし、1泊2日とはいえ、することの限られた空間で時間を共有できることは、まだ周りになじめていない新入社員には、下手に山に登らされたりキャンプに行くより、良いと思う。

## 6:釜山のターミナル・釜山観光を通じての観光地としての釜山の観光ポテンシャルについての感想

1. 釜山の観光ポテンシャルは決して高いとは言えない。しかし、魅力はかなりあると思う。例えば、都会と隣接している海。特に夏は、もっともっと観光客を増やせるはずだ。綺麗な海と美味しい海鮮料理でもっと観光客を呼び寄せべきだ。
2. ターミナルはとても立派で、出入国、搭乗手続きがスムーズであった。多くの航路があるため、免税店もある程度充実していた。(ここは大阪とは違う。)観光では、ポテンシャルはあまり感じないが、食事がおいしいのがいい。また、釜山のみならず、韓国は新しい食べ物を生み出すのが得意であるため、(今であればインスタ映えな食べ物)釜山でも、新しいものに出会えるのがいい。
3. I think the modern built Busan Terminal is well prepared to accept inbound/outbound tourists for now

4. 釜山はコンパクトにお店がまとまっていて短時間で韓国を味わうには良い場所だと感じた一方、複数回釜山に来る人にとっては真新しさが無いので改善が必要。例えば地下に沢山あった個人商店のような服屋の一部を韓国の伝統芸能に関する実演販売を行う場所にしては？

5. 釜山自体の観光地としての価値は大きいと思うが、その一方で韓国の玄関口としての側面も無視できないと考える。釜山到着後にプラス1日ないし2日で、ソウルや慶州といった主要観光地にも赴けるのは釜山の立地上の優位性なのでは。



6. 釜山の国際フェリーターミナルは、大阪、下関、福岡、対馬など、多くの発着があり、設備も空港並みに立派であった。ただ、駅までも歩くには遠く、交通の便は悪い。駅までの屋内歩道があれば、便利だと思う。釜山は、市内のショッピングに加え、郊外にも観光地がある。クルーズの寄港では、遠出をすることは難しいが、魅力は多い。

7. 上に書いたように、もしゴルフ場が港から近い場所にいくつもあれば、ゴルフをする人にとってよいかもしれません。ターミナルは本当に綺麗です。あれだけのターミナルがあれば十分ですね。観光地としてもいいと思います。日本によく似ているといえよく似ているのですが、よく見ると少しだけ違って異国情緒もありますし、釜山の方は日本語も話せて親切な方ばかりでした。タクシーの運転手まで親切なのは、日本の地方都市よりはるかにましです。



8. 釜山のターミナルの規模は、想像以上に大きくて、感動した。このターミナルを見るだけでも、一度釜山に訪れる価値があると言っても過言ではないと思う。ターミナルから市内へのアクセスも良くて、良い観光地だと思うが、地下通路やチャガルチ市場などは若干汚い印象だったので、苦手な人もいるだろうと感じた。

9. 対馬などへ航路があるのがわかって、港めぐりでパンスターで往復だけでなく、対馬経由で帰ってくるなどの複合商品を作れないかと思った。今回天気良かったのもあって、釜山港の海上からの眺望がとても良かったです！

10. 釜山ターミナルは新しく綺麗で立派だった。釜山の街は大阪の下町のような感じで、以前にソウルに行った雰囲気とは違った印象だった。ソウルでは、英語や日本語併記の店も多かったが、釜山では、ハングルのみ記載の案内や看板等が多いように感じた。

11. 街は港に近いので簡単にアクセスできます。

12. 釜山自体はゴミゴミしていてあまり観光はできないなと思った。時間があれば釜山から移動して別の地域に行ったりするほうが良いように思えた。ターミナル自体は快適でゆ

ったり過ごすことができた。日本のターミナルも免税店などを入れるほうが良いように思えた。

13. 3 時間であり、下調べもしなかったので、単なるマストツーリズムの団体旅行になってしまったのが反省です。企画としては、釜山の日本語学科の学生の通訳付プラントとかあったら面白いかなと思いました。海鮮料理をもっと食べればよかったと反省。定番のマーケットは観ているだけで楽しいので、町歩きは価値があると思います。ガイドがあるとなおよい。また、お土産で買ったパックは、女子学生からの評価が高かったです。
14. 釜山観光ですが、3 時間コース(ランチとショッピング)や 5 時間コース(ランチと観光とショッピング)などバスを利用していけるプランなどを事前にクルーズ利用者にご提案しても良いかと思えます。
15. "釜山の観光は、買い物がメインになると思う。そういう意味で、百貨店やコンビニ、地下街の小売店、コスメ通りの化粧品屋さんなど、目的に合わせてお店が集中しているため、買い物をしやすいイメージがある。ターミナルでは出国審査の前にコンビニやカフェがあり、乗船前にも免税店やカフェ、売店があるため、待ち時間を持て余すことが無かった。"



## **7: 船内でのクルーズ振興についてのディスカッションをベースに考えた、船旅が今後の日本人に好まれるためにできることについての提案**

1. フェリーと言えはすごく長いイメージがあるが、例えば和歌山港から友ヶ島に行く船は夏休みなどはチケットが満席になるほどだった。なので、もう少し短い距離で手軽にいけることを知ってもらうことから始めたほうがいい。例えば、電車の広告に乗せるなど。
2. リピーターは増えていることから、1 度乗れば船旅の良さ、楽しさは伝わるが、豪華なイメージが浸透しているため、その 1 歩踏み出してもらうことが難しい。また、豪華さを求めて乗船する方も多いため、それを求めているのにカジュアル船に乗ってしまうと不満があがるというのが現状である。船旅にはいくつもメニューがあることが伝えられることも重要。そのためにもパンスターの役割があると思う。
3. People have different level of motion sickness sensitivity. I personally find it difficult to concentrate to the presentation/discussion while on board (I felt uneasy with my head and stomach).
4. 先ずは認知を高めることだと思うので、イベント企画会社などと提携して思い出に残る船旅プランを複数開発。移動手段を押すのではなく例えば船の中でのイベントを全力で押しに行く。
5. 現時点では、日本人の休暇は短いことから、ショートクルーズの振興というのが現実的なところである。また、船であるからこそ訪問できる国内観光地は多々あることから、寄港地の発掘及び航路の開発が求められるところでもある。その上で、今後の振興においては、主要

交通手段(飛行機・新幹線)を組み合わせた旅程の設計が必要とされるのではないだろうか。邦船だけではなく、外航船社のクルーズにおいても、国内でのフライ&クルーズ、トイン&クルーズを推進すると同時に、区間乗船を積極的に導入することが望ましいと考える。これにより、地方空港や新幹線駅に近い港湾での乗下船が可能になり、クルーズ船を活用した旅行商品の多様化が生まれ、クルーズ船へのハードルが下がると考える。

6. やはり、クルーズの楽しさを知ってもらうこと。次に、短いクルーズを実現することだと思う。外国客船にはカボタージュの問題があり、短いクルーズは、フライアンドクルーズなどの展開が必要だろう。沖縄は、目的地としても魅力があり、台湾も近いため、3泊のクルーズが楽しめる。今後に期待したい。
7. 日本人の旅行の立て方は、旅行期間中に現地にとだけいることができるか?から始まる気がするので、旅行期間中に移動時間が長いことをどうデメリットだと感じさせないかが重要な気がします。そのためには、例えば大阪～釜山で言えばマジックショーなどよりは思いっきり韓国を感じさせるイベント盛りだくさんにしておいて(マッコリの試飲会とかキムチの即売とか?)、単なる移動時間だと思わせない工夫が必要かなと思いました。
8. 私自身も思っていたことだが、飛行機で数時間のところを一日かけて移動するという時間の使い方が、クルーズが日本人に馴染まない要因だと思う。ただ、今回の体験で、海沿いの都市であれば船旅も悪くないと感じ、その魅力を知ることができた。大型のクルーズ船は、日本人にはまだまだハードルが高いと思うので、パンスターなど「クルーズのエントリーモデル」を一度利用することで、その意識を変えていくことが、まず重要なことだと。
9. 全体として非常に楽しかったので、細かいところを修正するだけでも魅力が高まると思う。日本人にとってはお風呂がかなり大事なので、大浴場の運用をなんとか改善する事が大事かと。あと、屋上が広いので(法令が許せば)お盆の盆踊り大会など、時期的なアトラクションを開催するとか。
10. 移動時間の長さや料金を考えると、海外行きの船旅は片道を飛行機にするのは有難い手段だと思う。また、陸路より移動時間が短くて済む海沿いの観光であれば、ぜひとも船で観光してみたいと思った。
11. 日本に住んでいる外国人にとって、釜山を訪れるにはビザが必要です。料金は高額です。釜山での旅行がたった3時間なら、釜山に旅行する価値はありません。
12. 陸上交通ではあまり行けない地域に行くことができるので、それを訴求することと、過疎だが自然の多い地域に寄港する特性を生かしてトレインアンドクルーズなどの取り組みができれば良いのではないかと思います。
13. 本来は仕事をしないゆったりとした時間を過ごすのがよいのだとは思いますが、個人であれば、移動時間を通じてリッチな部屋で仕事をするのもいいかなと思いました。目的地への往復でなく、停泊地がいくつかあるのであれば、寄港先との連携が重要になる。WinWinになる関係はどのような関係であるのかをきちんと考えて行く必要があると思った。特に、インバウンド対応はどのようにするか、利益をどのように地域とクルーズ運営会社と分けるかは重要。日本人に好まれるクルージングを考える場合、国内寄港なのか、外国寄港なのかで幾分趣向が変わると思われる。異文化体験も含めて外国行きが一番よいと思われるが、初

心者はどのように船内生活を楽しんでいいのかが分からないので、コンシェルジュがいてサポートしてくれるとありがたい。また、ビギナー向けのクルーズ体験ツアーなどがあり、より本格的なクルーズに向けてのゆくようなステップアップして行く全体像が重要かなとも思った。修学旅行なども面白いかなとおもったが、添乗員が大変そう。

14. クルーズ乗船するお客さんには、地域と連携して、おすすめスポットを紹介しながら主要な商店街ルートで構成されたプランなども併せて提供していくのも良いかと思います、
15. 船旅は、船を単なる移動手段と考えている人には向かない。逆に船の中も楽しむことを考えている人には向いている。まずは船の中で何ができるのかを周知することが重要だろう。移動時間が長い文、いろいろな体験を無料で出来ることが分かれば、それを目的に乗船する人も増えると考え。また、船旅は酔うという先入観も無くしたほうがよいだろう。特に瀬戸内海は大人しい海であるため、船の揺れは少ない。揺れが少ないからこそできる、船内ならではのイベントがあっても良いように思う。例えば、釜山を出港してから、夜9時ごろに関門海峡を通過するが、両岸の建物の解説や歴史の紹介をする甲板でのツアーがあってもよいだろう。とにかく、パンスタークルーズをきっかけに、クルーズ船はゆつくりと時間を過ごしたい人は過ごせるが、「退屈ではない」というイメージを持ってもらうことが重要であろう。